

山形新聞 2010年5月9日(日)朝刊に掲載!



**バード紀行ルート
踏査の記録写真展**

南陽、16日のシンポ前に

英女性旅行家イザベラ・バードの「日本奥地紀行」発刊130周年を記念し南陽市で16日に開かれる「イザベラ・バードの山形路を語る」シンポジウムを前に、東京のまちづくりグループがバード紀行の県内ルートを踏査した際の記録写真展が、ハイジアパーク南陽で開かれている。写真。

地域の観光資源発掘と活性化を目指すグループ「元気・まちネット」(矢口正武代表

「戸沢村出身」が、明治時代に本県などを歩いたバードの旅に着目。2007年に県内ルート約200キロを踏査し、東京発のツアー商品開発などにつなげてきたほか、今回、バード関連の常設展示コーナーがあるハイジアパークと共催する形でシンポジウムを企画した。これに合わせ、矢口代表らが踏査行で撮影した写真計60枚を展示。明治期に造られた橋や石碑などを回り、バードの旅に思いをほせた踏査行を紹介している。

シンポジウムはハイジアパークで16日午後0時半から。大津高山形大名菅教授や錦啓元県立博物館長らの講演とパネルディスカッションなどがある。参加費500円(中学生無料)で、申し込みはハイジアパーク0238(45)2200か、矢口代表090(5494)8699。



元気・まちネット